

平成21年度



兵庫県立大学

産学連携センター一年報

- 兵庫県立大学シンポジウムを開催
- 地域連携卒業研究の実施
- 地域連携の更なる拡大

兵庫県立大学産学連携センター
Center for Corporate Relations, University of Hyogo

目次

巻頭言

産学連携センター長 太田 勲

2

新任挨拶

姫路産学連携センター長 村松 康司

3

- 1 プロジェクト研究 4
- 2 兵庫県立大学シンポジウム～地域経済再生と新たな産業創出を目指して!～ 7
- 3 インキュベーションセンター 8
- 4 ニュースパル産業用分析ビームライン 10
- 5 兵庫県立大学シリーズセミナー「よくわかる研究」 11
- 6 産学連携活動
 - 6-1 自治体等との連携活動 13
 - 6-2 金融機関との連携活動 14
 - 6-3 はりま産学交流会との連携活動 15
 - 6-4 CASTクラブとの連携活動 16
 - 6-5 関係機関との連携活動 17
 - 6-6 各種マッチングフェア等への参加 22
 - 6-7 他部局等の主催行事への参加 24
- 7 地域連携卒業研究 25
- 8 外部資金
 - 8-1 外部資金の推移 26
 - 8-2 外部資金の受入状況 28
- 9 協力機関・企業 30
- 10 知的財産本部 31
- 11 産学連携センター運営委員会・職務発明審査会等 33

参考1 産学連携センター業務

参考2 研究者データベース

参考3 産学連携センターコーディネーター紹介



兵庫県立大学副学長・産学連携センター長 太田 勲

平成22年4月より、兵庫県立大学産学連携センター長に就任いたしました。本学は公立大学として教育、研究、ならびに地域社会への貢献を重要な使命としています。特に、産学連携を社会貢献の支柱と位置付け、産業界の「ものづくり技術」や企業経営の高度化、効率化などを積極的に支援することにより地域社会の発展に寄与できるよう努めています。この課せられた使命を果たすために鋭意努力する所存でございますので、よろしくお願い致します。

リーマンショック後の世界同時不況で世界経済は大きく後退し、未だその後遺症に苦しんでいます。このようなエポックには新技術やそれを核にした新産業が一気に台頭してまいります。自動車産業界では(P)HVやEVへの流れが急激に加速されていますし、電機業界でも3DTVの市場参入が早まってきています。また、低炭素社会に向けて様々なグリーン技術が頭角を現してきています。今、次の時代を睨んで進めてきた地道な基礎研究や新技術が一気に花開く時を迎えていると言えます。

本学の産学連携センターは、シーズの発信や企業の直面する技術的あるいは経営的課題の解決、新技術の開発、技術相談、経営相談などに積極的に対応してきていますが、大学は企業にとってリスクの高い基礎研究や高度な先端研究を得意としていますので、上記のような次世代に繋がる産学連携研究のコーディネートにも大いに取り組んでまいりたいと考えています。

加えて、産学連携を実り多いものとするためには、産学間の密度の濃い人材交流が重要であります。産業界の若手技術者に大学内に積極的に入って来て頂き、共同研究を進める中で当該テーマのみならずその周辺知識を幅広く習得して頂ければ、人脈も含めて大学事情に精通した産学間のパイプ役としての活躍も期待できます。ベテラン技術者の方には、その経験を活かして学生が志向する技術者への道を確認するものとするための教育にご支援を頂ければ、学生に生きたキャリア教育を提供することができます。また、地元企業とのインターンシップを積極的に進めることにより、学生が実学や社会人・技術者としての心構えを学ぶことができるばかりでなく、地元企業への就職希望者の増加という二次的効果も期待できます。

本学は、次の三点を基本として産学連携活動を展開しています。第一は連携の専門分野を理工系だけでなく経済、経営、看護などの全学分野に広げること、第二は連携する地域を播磨地域、神戸、阪神から全県下に拡大すること、第三は産業界だけでなく各種団体や地方自治体・ブロックまで幅広く連携の対象とすることです。現在、経営、看護分野の教員を含め、各部局の多くの教員が企業との共同研究や自治体・金融機関との産学官連携を積極的に推進しています。

本冊子は平成21年度における本学の産学連携の活動報告書です。本学の産学連携活動の実態と業務内容等を広く知って頂くとともに、産業界や各種団体の方々が積極的に本学との産学連携にご参加して頂ける一助となることを期待して発刊しています。

兵庫県立大学産学連携センターのスタッフ全員が、地域社会の発展に貢献するために産学官連携の推進に精一杯取り組む覚悟であります。あらためて本学の産学連携活動への皆様方のご理解と積極的なご参加、ご支援をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

新任挨拶



姫路産学連携センター長(工学研究科 教授) **村松 康司**

平成22年度より姫路産学連携センター長を拝命しました工学研究科物質系工学専攻の村松康司です。姫路産学連携センター長の主たるミッションは、産学連携センター長を補佐して産学連携事業の運営に直接参画することと、姫路工業大学時代から積みあげられてきた姫路地域ならびに兵庫県下の企業との連携強化に努めて地域社会に貢献することと捉えています。今後本学の産学連携活動がより円滑かつ活発に進展するよう微力ながら努力していきたいと思っております。

姫路産学連携センターは平成12年に設けられた姫路工業大学姫路産学交流センターを前身とし、平成16年に兵庫県立大学が総合大学として船出した際に現在の名に改称されました。つまり、本センターの産学連携事業には10年の歴史があり、自治体、企業、はりま産学交流会、各種関係機関等との連携を通して、これまでに様々な実績を積み上げてきたことは周知のとおりです。

書写キャンパスにおいては、平成19年度からインキュベーションセンターが本格的に運営を開始し、産業界のニーズに対応した企業との共同研究が工学研究科と高度産業科学技術研究所の教員を中心に活発に展開されています。また、地域貢献をより積極的に推進するため、姫路地域の企業から卒業研究テーマを募集する地域連携卒業研究を昨年度から開始し、4件が卒業研究として実施されました。この取り組みは産学連携研究成果の創出にとどまらず、ニーズを意識した実践的な研究開発感覚を学生が涵養できる絶好の機会です。工学部学生の多くがエンジニアの道に進むことを考えると、地域連携卒業研究は教育的意義が高く、産学連携を介したキャリア教育と言っても過言ではありません。「ナノ・マイクロ構造科学研究センター」が平成23年度から5年間の時限付きプロジェクト研究センターとして工学研究科内に創設されます。現在、開設準備が着々と進められており、東北大学およびカールスルーエ工科大学と連携した最先端材料研究が始まろうとしています。ここから次世代の産学連携シーズが発芽するものと期待されます。

大学のミッションは社会に貢献する人材の育成(教育)と学問の探求(研究)であると考えますが、産学連携事業はこれらに密接にリンクした社会貢献の一つです。この観点から、より積極的な産学連携事業の展開に取り組んでゆく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

1

プロジェクト研究

〈(独) 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (CREST型研究)〉

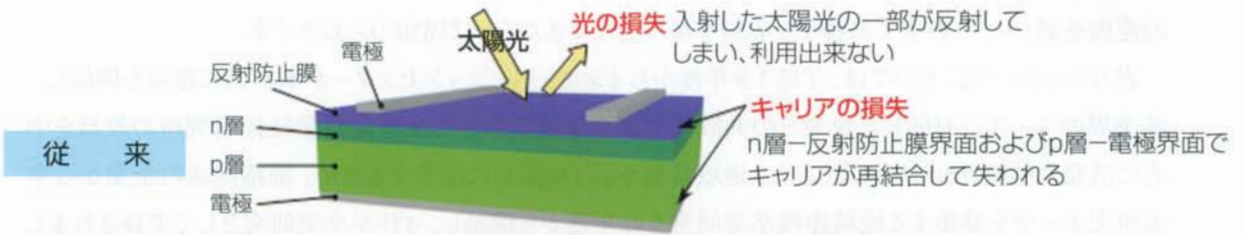
- プロジェクト名** 界面局所制御による光・キャリアの完全利用
- 研究者名** 工学研究科 教授 佐藤 真一
- その他参画教員** 工学研究科 准教授 新船 幸二、准教授 吉田 晴彦、助教 森 英喜
- 共同研究機関** 明治大学理工学部
- 研究協力機関** 早稲田大学、(独)物質・材料研究機構、(財)高輝度光科学研究センター、
神奈川県産業技術センター、NIMSナノテク拠点、中部ナノテク総合支援、
東京エレクトロン(株)



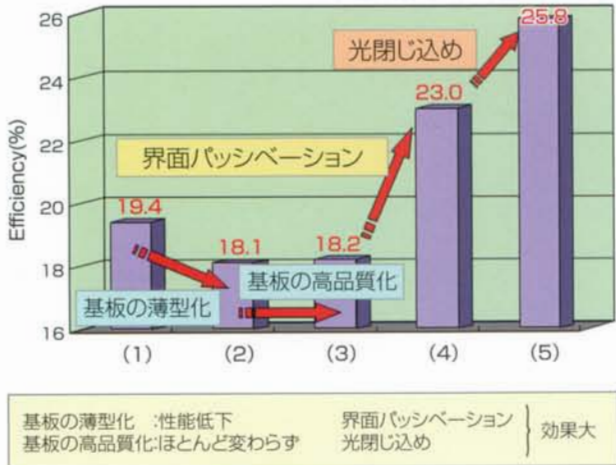
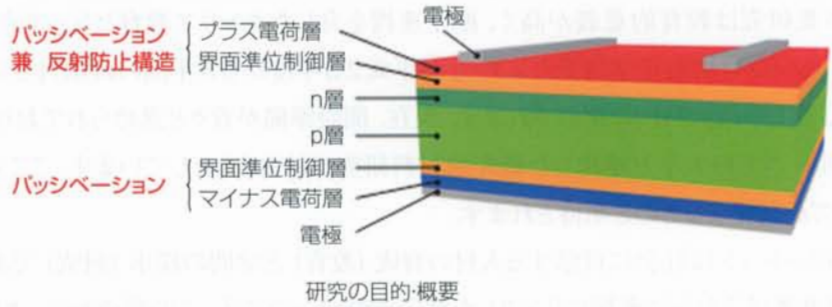
佐藤 真一 教授

研究内容

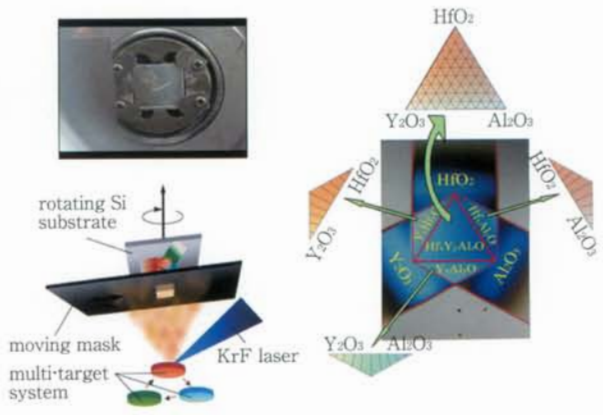
◆太陽電池が持つ潜在能力を極限まで引き出すためには、入射する「光」と、光により発生する「キャリア」の完全利用を目指す必要がある。本研究では「光」と「キャリア」の損失が起こる太陽電池と表面膜との界面に着目し、「界面特性の物理モデル」を構築する。さらにコンビナトリアル手法を駆使して「新しい表面膜材料」を探索し、モデルと組み合わせて太陽電池の高効率化を推進する。



本研究 パッシベーションモデルの構築および新規材料探索を行い、界面におけるキャリア損失を極限まで減少させると同時に、光の反射損失も低減させ、太陽電池の高効率化を目指す



太陽電池性能の改善要因とその効果(シミュレーション)



コンビナトリアル手法による材料探索(模式図)

〈農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業〉

プロジェクト名 スマートセンサーを装備した捕獲-防護両用の野生動物被害対策システムの開発

研究者名 自然・環境科学研究所次長 教授 室山泰之

その他参画教員 自然・環境科学研究所 准教授 坂田宏志、准教授 横山真弓、
助教 鈴木克哉、特任助教 阿部豪

共同研究機関 株式会社アサヒ電子研究所、NPO情報セキュリティ研究所、
兵庫県森林動物研究センター



室山 泰之 教授

研究内容

◆研究目的

野生動物による農作物被害への対策には、檻などによる捕獲や威嚇刺激等による追い払いがあるが、捕獲装置は回避されることが多く、威嚇刺激は馴れによる効果低減が起こりやすい。そこで本研究では、スマートセンサーによって作動し、動物の警戒心の強弱に応じて威嚇と捕獲とを自動的に選択するシステムを開発する。また、捕獲装置については、捕獲個体の苦痛軽減への配慮と設置簡便性を兼ね備えた構造及び素材を開発する。

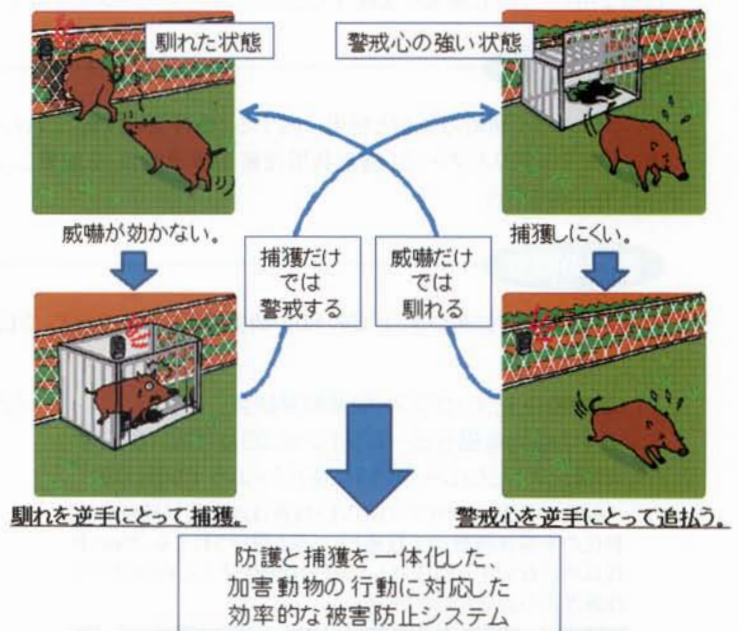
◆研究内容

以下の3つの研究課題を実施する。

- ①種判別センサー及び数量センサーの開発
農地や檻などの捕獲装置に接近した動物種や大きさ、頭数などを判定するセンサーを開発する。獣種の判別は、対策システムを獣種に応じて適切に作動させるために、大きさの判別は、被害対策に効果の高い成獣を選択的に捕獲するために必要である。また、頭数を判別することにより、一回あたりの捕獲数を大きくして捕獲効率を上げたり威嚇刺激を効率的に呈示することが可能になる。
- ②防護-捕獲一体型被害対策システムの試作
①で開発した統合型センサーシステムを組み込んだ、防護-捕獲一体型被害対策システムのハードウェアを試作する。
- ③実証試験と実用に向けた改良及びマニュアルの作成
②で試作した被害対策システムを、実際に野生動物が出没あるいは被害を発生させている現場で試用し、使用上の問題点や課題を抽出する。その結果を基に、センサーやシステムの改良を行ない、実用化を目指す。また、現場の状況に合わせた、効率的な運用法を検討し、マニュアル化する。

◆期待される成果

自動化された防護-捕獲システムを活用することによって、高度な技術がなくても省労力の獣害対策が可能になり、経済的効果や中山間地域振興への寄与が期待できる。また、目的とする動物の捕獲効率の向上による被害対策の推進と、目的外の野生動物を捕獲する錯誤捕獲を防止することによる希少種保全への貢献が期待できる。



〈文部科学省 先端研究施設共用促進事業〉

- プロジェクト名** ニュースバル放射光施設共用促進事業
- 事業責任者** 高度産業科学技術研究所 教授 宮本 修治
- 利用分野担当者** 高度産業科学技術研究所 教授 木下 博雄、
准教授 渡邊 健夫、准教授 内海裕一、准教授 神田 一浩、
助教 天野 壮



宮本 修治 教授(事業責任者)

事業の目的

ニュースバル放射光施設を、産学官の利用者へ共用することにより、本大学の有する加速器・放射光源技術と放射光利用技術を用いて、研究開発を支援するとともに、イノベーションを実現する新産業創出を目指す。

事業運営体制

ニュースバル利用の運用と利用に関する2委員会を設置。これらの委員会の運営方針に基づいて、ニュースバル利用支援室に「施設共用リエゾン」と「施設共用技術指導研究員」を配置し、ニュースバルの利用者に対する情報提供やPR、共用装置の技術指導を行う。

施設の概要

共用促進事業に基づき、下記の利用・研究分野のビームラインを広く産業界および研究機関に共用する。

(1) 極端紫外光リソグラフィ関連開発研究：

2本の偏向電磁石ビームラインBL03及びBL10と1本の長尺アンジュレータ(11m長)ビームラインBL09

極端紫外光リソグラフィ(EUVL)技術は2013年以降の32nm世代の半導体微細加工技術として最も期待されている。20nm世代以降に対応するEUV用レジストの評価をするためのEUV干渉露光系の開発も進めている。



極端紫外光汎用ビームラインBL10

(2) ナノマイクロ加工のMEMSおよびナノバイオ応用研究：

偏向電磁石ビームラインBL02及びBL11

ナノマイクロシステムの研究開発を行い、数多くの産学連携大型プロジェクトの実績がある。現在の機械加工技術では到達できていない μm レベル以下の3次元微細加工がA4サイズにわたって可能な唯一の設備。



LIGA大面積ビームラインBL02

(3) 材料分析および光励起反応利用の産業応用：

偏向電磁石ビームラインBL05、BL06及び短尺アンジュレータ(2.2m)ビームラインBL07

産業用分析ビームラインBL05は、当初から産業界への共用を目的として設置。合同会社シンクロトロンナリシスがユーザーの利用支援をする。BL06,07では高輝度の放射光により材料の表面改質・高精度表面分析し、機能性表面創製を行っている。(BL05は「4 ニュースバル産業用分析ビームライン」参照)

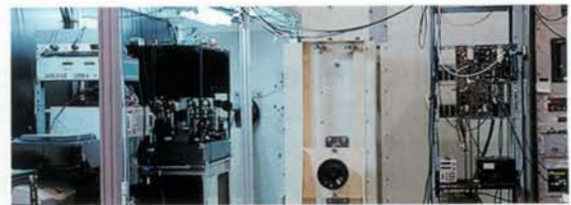


産業用分析ビームラインBL05

(4) レーザーコンプトン散乱ガンマ線利用：

短尺アンジュレータビームラインBL01

電子蓄積リングの高エネルギー電子ビームにレーザー光子を衝突させることにより、エネルギー可変、準単色、直線・円偏光可能な優れた特性のガンマ線ビームを発生できる。非破壊検査や、陽電子発生、光核反応研究などに用いられている。



レーザーコンプトン散乱ガンマ線ビームラインBL01

2

兵庫県立大学シンポジウム

—地域経済再生と新たな産業創出を目指して!—

産学連携の推進を図り、兵庫県立大学の存在を積極的にアピールするため、本学の最先端の研究や産業界のニーズに即した研究内容等を産業界に向けて発表する、「兵庫県立大学シンポジウム—地域経済再生と新たな産業創出を目指して!—」を開催した。

主催 兵庫県立大学

兵庫県立大学シンポジウム実行委員会

(構成団体)兵庫県立大学学術奨励会、神戸商科大学後援基金管理運用委員会、淡水会、

(財)兵庫県立大学科学技術後援財団、姫路工業倶楽部、ゆりのき会

日時 平成21年9月11日(金)12:45~19:00

場所 神戸市産業振興センター 2F 展示場

内容 開会挨拶 12:45-13:00

兵庫県立大学姫路産学連携センター長 川島陽介



開会挨拶

第1部 13:00~16:00

・ショートプレゼンテーション(18件)

・ポスター発表

(60件、内訳:大学52件、企業等8件)※発表者別所属
経済・経営学部:会計研究科(8) 工学部(23) 理学部(5)
環境人間学部(7) 看護学部(2) 応用情報科学研究科(3)
高度産業科学技術研究所(2) 自然・環境科学研究所(2)
計52件



ショートプレゼンテーション

第2部 16:00~17:45

・挨拶

兵庫県立大学副学長 阪本靖郎

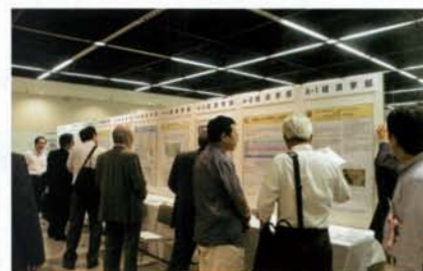
・特別講演

「川崎重工業における研究開発のマネジメント」

川崎重工業(株)研究開発本部 技術企画部長 理事
崎山 雅行 氏

「関西経済の活性化に向けて」

経済産業省 近畿経済産業局長
深野 弘行 氏



ポスター発表

第3部 17:50~19:00

・交流会



崎山理事



深野局長

3

インキュベーションセンター

産業界からのニーズに対応した共同研究を推進するとともに、その研究成果を産業界に積極的に移転するため、次世代産業の育成や大学発ベンチャーをはじめとする新規起業への支援を行うインキュベーションセンターを平成19年2月に開設した。兵庫県立大学では、この施設において、大学が持つ技術シーズと企業等のニーズを組み合わせて、新製品や新技術の開発につながる研究を展開していく。

(1) 施設概要

- ①所在地 兵庫県立大学姫路書写キャンパス(姫路市書写2167)
- ②施設規模 延床面積 約1,500㎡ RC4階建
共同研究室20室(65㎡×16室、27㎡×4室)

(2) 利用条件

- ①兵庫県立大学教員と民間企業等の研究員が共に共同研究を実施する場合
- ②兵庫県立大学教員が大学のシーズを活用した大学発ベンチャー企業を支援する場合
- ③利用期間は原則として1年以内(3年を限度として更新を認める場合あり)

(3) 利用申請方法

- ①利用申請は、すべて本学の教員を通じて行う
- ②インキュベーションセンターを利用する共同研究を希望する場合は、共同研究を実施しようとする本学の教員にその旨相談する

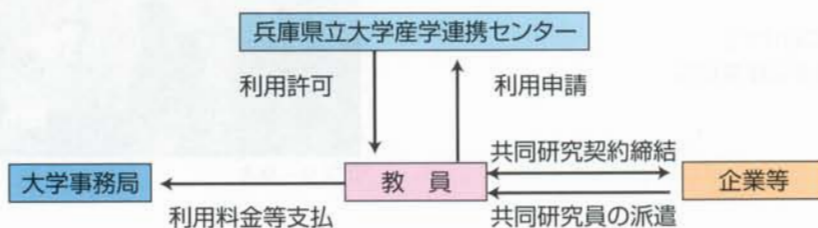
(4) 利用期間

- ①インキュベーションセンターの利用期間は1年以内とし、利用許可日の属する年度の末日をもって終了
- ②但し、利用開始から3年を限度として、年度ごとに利用許可の更新を認める

(5) 利用料金等

- ①共同研究員の派遣経費年額420,000円/人とは別に、研究室利用料、光熱水費等を負担する必要あり
- ②負担額については、共同研究を実施しようとする兵庫県立大学教員と協議の上、決定する

【インキュベーションセンター利用概念図】



■入居教員一覧(平成22年3月31日現在)

研究室番号	利用教員(代表者)	その他の参画教員	共同研究テーマ	備考
9101	工 豊田 紀章	客員教授 山田 公	ガスクラスターイオンビームによるナノプレジジョン加工	
9102				
9103	管 理 室			
9104	客員教授 山田 公	工 豊田 紀章	ガスクラスターイオンビームによる半導体デバイスプロセスの研究	
9105				
9201	工 永田 正義	工 菊池 祐介	耐サージ電線の部分放電による絶縁劣化診断技術の開発	
9202	工 松田 聡	特任教授 工 八東 充保 藤原 関夫	低発塵性電動シリンダの開発	
9203	客員教授 山田 公	工 豊田 紀章	ガスクラスターイオンビームによる半導体デバイスプロセスの研究	
9204	工 藤原 関夫		微細溝内面の表面改質に関する研究	
9205			DLC成膜技術に関する研究	
9301	工 山崎 徹	高 望月 孝晏	電解析出法による高強度ナノ結晶合金の作製とマイクロ成形部材の開発	大学発ベンチャー企業が利用
9302				
9303	高 服部 正	高 野田 大二	SR-MEMSによるマイクロデバイスの開発	大学発ベンチャー企業が利用
9304				
9305				
9401	工 前中 一介	(独)科学技術振興機構	MEMSデバイスの基礎技術向上に関する研究	
9402				
9403	特任教授 太田 勲	工 河合 正 工 小久保 吉裕	導波管回路の集積化技術に関する研究	
9404	工 畑 豊	環 内田 勇人 工 小橋 昌司 工 倉本 圭	生体情報処理システムの開発	
9405	工 岸 肇	工 松田 聡	植物バイオマスを用い合成したエポキシ樹脂の新機能発現	
合計 20室	工:工学研究科、高:高度産業科学技術研究所			

4

ニュースバル産業用分析ビームライン

ニュースバル産業用ビームライン(BL5)は、兵庫県立大学の附置研究所である高度産業科学技術研究所の中型放射光施設ニュースバルに設置されているもので、産業界からの依頼により随時で短期間に物質・材料の分析・評価ができる産業専用ビームライン。平成20年10月から供用を開始し、測定支援と代行測定する「合同会社シンクロトロンアナリシスLLC」も設立している。

(1) 産業用ビームライン(BL5)の概要

ビームライン	BL5A	BL5B
エネルギー領域	1300~4000eV	50~1300eV
測定項目	全電子収量XAFS、 蛍光収量XAFS	全電子収量XAFS、蛍光収量XAFS、 光電子分光(XPS)

※XAFS(ザフス)は物質にX線を照射し、その吸収率を測定して物質を評価分析する手法。

※BL5A,Bは同時稼働。



BL5の見学風景

(2) 合同会社シンクロトロンアナリシスLLC (SALLC)

産業界が簡単に放射光施設を利用するための民間の受け皿組織として設立。利用手続き、測定代行等の支援を行う産業用分析ビームラインBL5運用会社。放射光測定の経験者がいない場合はSALLCが代行測定、利用企業の技術者が測定する場合は施設の調整・準備と操作法の指導、その他利用時間の設定・配分、大学への利用申請手続や料金納入の代行、材料分析に関する技術相談などの業務を行っており、このために、2名のビームライン担当者が常駐している。

利用申込みは随時受付けており、申込みから短時間で利用(タイムリーな測定)できる大きな利点がある。

(3) SALLC幹事会

産業用分析ビームライン(BL5)の利用計画の策定、事業活動の検討・決定のため、幹事会を開催。県立大学からオブザーバーとして、神田一浩准教授、元山宗之客員研究員(共用促進リエゾン・コーディネーター)、上月秀徳研究企画コーディネーターが参加。毎月1回開催。

5

兵庫県立大学 シリーズセミナー「よくわかる研究」

産業界と研究協力及び学術交流を積極的に推進するとともに、地域社会に開かれた大学として、その知的財産を地域社会に還元する社会貢献の一環として、シリーズセミナー「よくわかる研究」を開催している。

○“よくわかる出前セミナー”&移動工業技術センターin但馬

ものづくり企業・技術者に役立つ技術セミナー

～ものづくり企業の技術力向上や新規事業の創出などに役立つ基礎技術の解説や新しい技術シーズを紹介～

共催 兵庫県立工業技術センター

日時 平成21年12月8日(火)

場所 兵庫県立但馬技術大学校

内容 挨拶 産学連携センター長 鈴木 胖
基調講演

工学研究科 教授 奥田 孝一
「最近の機械加工技術の動向」

技術シーズ紹介

- 工学研究科 准教授 阿保政義
「静電気の工学的応用と電気エネルギーとしての将来」
- 工学研究科 准教授 原田泰典
「ショットピーニング技術の接合への応用」



奥田教授



阿保准教授



原田准教授

○“よくわかる研究”ものづくり支援セミナーin東播磨

地域企業が自立し、不況の時代を生き抜くためのものづくり戦略を経営面からアプローチ

共催 兵庫県東播磨県民局、兵庫県立工業技術センター

加古川市、加古川商工会議所、東播磨ものづくり交流会

日時 平成22年2月10日(水)

場所 加古川市民会館

内容 基調講演

経済経営研究所 教授 池田潔
「地域中小企業の自立化とものづくり戦略」

パネルディスカッション

「産が学・官に求めること」

コーディネーター 経済経営研究所 教授 池田潔

パネラー 姫路産学連携センター長 川島陽介



池田教授

○“よくわかる研究”シリーズセミナーin尼崎

高性能化・知能化を目指す材料・機械工学の最前線
～非鉛化機能材料の活用と機械設計の知能化～

共催 尼崎市産学公ネットワーク協議会

日時 平成22年3月19日(金)

場所 尼崎市中小企業センター

内容 挨拶 姫路産学連携センター長 川島陽介
研究発表会、技術講演テーマ別懇談会
○工学研究科 准教授 小舟正文
「非鉛化技術が創造するエレクトロニクスの未来」
○工学研究科 教授 小西康夫
「経済理論を用いた機械の多目的設計法の提案」



小舟准教授



小西教授

連携対象を産業界だけでなく各種団体に拡大していくという産学連携センターの基本方針を具体化するため、地方自治体や金融機関との連携協力など、多様な活動を展開した。

6-1 自治体等との連携活動

(1) 神戸商工会議所との連携活動

平成19年8月に神戸商工会議所と締結した連携協定に基づき、以下の活動を展開した。

○連携研究会(第二創業を目指す企業家の集い)

日時・場所 毎月1回(4月除く):神戸キャンパス、神戸商工会議所

内 容 ビジネスモデルの構築、企業経営の本質等の講演
コーディネーター 経営学部 教授 佐竹隆幸

(2) 姫路市・姫路商工会議所との連携活動

平成16年7月に姫路市・姫路商工会議所と締結した連携協定に基づき、以下の活動を展開した。

○平成21年度「地域資源∞全国展開プロジェクト事業」(日本商工会議所補助事業)
農商工が連携した姫路産砂糖復活による特産品(菓子)開発への参画・指導・協力

経営学部 教授 當間克雄
プロジェクト事業推進委員会の専門家として参画、普及活動部会長等
経営学部 教授 三崎秀央
プロジェクト事業推進委員会のオブザーバーとして参画、助言等
経営学部 准教授 川上昌直
会計研究科 教授 山口隆英
本プロジェクト事業への学生の取り組み等について指導・協力

○姫路食品技術研究会
産学官が連携協力して食品技術を高め、食品産業に技術開発をめざす研究会

第3回研究会

日時・場所 平成21年5月29日(金):姫路獨協大学

内 容 基調講演
工学研究科 准教授 武尾正弘
「廃棄物系湿潤バイオマス利用に関する兵庫県COEプロジェクト研究の成果と問題点」

第4回研究会

日時・場所 平成21年8月28日(金):新在家キャンパス

内 容 大学の紹介と研究紹介
環境人間学部 准教授 加藤陽二
「兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程などの紹介」
環境人間学部 准教授 伊藤美紀子
「健康寿命を延長させる食品は?アンチエイジングを目指して」
環境人間学部 助教 新田陽子
「①食品ゲルの大変形挙動解析、②アレルギー食中毒原因物質の検出と生成抑制」

○産官学連携連絡会議

日時・場所 毎月1回:姫路商工会議所

内 容 姫路商工会議所、姫路市、兵庫県中播磨県民局、兵庫県立大学の産学連携関係者間で情報交換会議を実施

(3) 宍粟市との連携活動

平成18年2月に宍粟市と締結した連携協定に基づき、以下の活動を展開した。

○宍粟市行政評価制度

アドバイザー 会計研究科 教授 瓦田太賀四、教授 林昌彦、准教授 陳琦

6-2 金融機関との連携活動

(1) 神戸信用金庫との連携活動

○神戸信金ビジネスクラブ総会

日時・場所 平成21年3月17日(火):神戸信用金庫

内 容 産学連携研究会報告
コーディネーター 経営学部 教授 佐竹隆幸

○神戸信金産学連携研究会

日時・場所 毎月1回:神戸キャンパス

内 容 「人材育成・人的資源・賃金・後継者育成」、「財務(経営分析)」のテーマを中心とした研究会
講師陣
経営学部 教授 佐竹隆幸(総括)、教授 井内善臣、教授 開本浩矢、
准教授 加納郁也、教授 岡本久之、教授 鳥邊晋司、准教授 辻川尚起、教授 安田義郎

(2) 兵庫県信用保証協会との連携活動

○産学連携講座(中小企業金融と信用保証制度)

日時・場所 平成21年11月13日(金):尼崎商工会議所会館

内 容 「県内中小企業の経営金融情勢と今後の展望」
講師 経営学部 教授 佐竹隆幸



(3) 姫路信用金庫との連携活動

平成17年2月に姫路信用金庫と締結した連携協定に基づき、以下の活動を展開した。

○ひめしん研究開発助成金

平成17年度に本学と共同で研究開発を行う企業に対して研究費を助成する「ひめしん研究開発支援助成金」を創設。21年度は4件が採択され、姫路信用金庫本店大ホールにて近畿経済産業局産学官連携推進課長も出席して助成金贈呈式を挙行了。(平成21年7月13日)

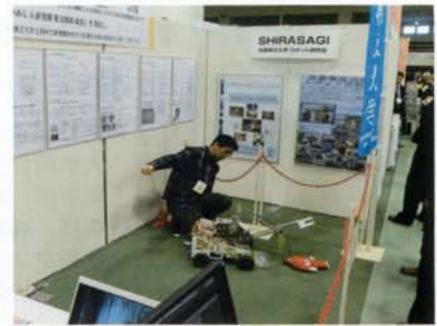
企業名	共同研究者	研究テーマ
(株)アステック	工学研究科 准教授 倉本圭	環境浄化触媒の事業化
(有)ハヤシ工務店	環境人間学研究科 教授 土川忠浩	省エネ・快適設計のための住宅用潜熱蓄積材の最適利用技術開発
(株)シルバーロイ	工学研究科 准教授 生津資大	泥しょう鑄込み多孔質鑄物の開発とSiCマイクロマシン製作への応用
(株)香寺ハーブ・ガーデン	環境人間学研究科 准教授 加藤陽二	軽節の抽出残渣を利用した機能性味噌の開発

○地域発信フェスティバル～この街とともに～

姫路信用金庫が平成22年2月に創立100周年を迎えるにあたり、地域に対する感謝・恩返し、また官民一体となり、以下のとおり「地域発信フェスティバル」を開催

日時・場所 平成21年11月21日(土)兵庫県立武道館

内 容 企業等の見本市及び物産展
・兵庫県立大学のPRブース出展
・平成17年度から21年度まで5年間のひめしん研究開発助成金による共同研究実績の紹介
・「ロボット研究会」メンバーによるレスキューロボの実演



レスキューロボの実演

(4) 西兵庫信用金庫との連携活動

平成17年5月に西兵庫信用金庫と締結した連携協定に基づき、以下の活動を展開した。

○にしん助成金

大学での産学連携活動に充当することを目的とした助成金

○地元企業からの卒業研究テーマ募集事業への助成金

○西兵庫信用金庫顧客企業からの技術相談に対応

6-3 はりま産学交流会との連携活動

技術開発・商品開発・人材開発を推進し、播磨地域産業の活性化に貢献するとともに、新たな事業創出を支援することを目的として設立され、姫路地域を中心とする企業100社以上を会員に持つ「はりま産学交流会」と姫路工業大学時の平成7年から産学連携活動を行ってきており、21年度は以下のような連携活動を行った。

○はりま産学交流会定時総会・特別講演会

日時・場所 平成21年4月17日(金)：姫路商工会議所

内 容 講演会・交流会

参加教員 産学連携センター長 鈴木胖、姫路産学連携センター長 川島陽介

○2009パートナーシップ事業～企業発信!播磨力!～

日時・場所 平成21年7月24日(金)：姫路商工会議所

内 容 はりま産学交流会会員約90社のパネル発表と16社のプレゼンテーション
兵庫県立大学紹介ポスター展示

参加教員 産学連携センター長 鈴木胖、姫路産学連携センター長 川島陽介

○研究発表会

日時・場所 平成22年2月12日(金)：姫路商工会議所

内 容 研究シーズ発表
工学研究科 准教授 遊佐真一
「外部刺激に応答して内包物を放出する水溶性架橋ナノ粒子の合成」
工学研究科 助教 大幸裕介
「分相・結晶化を利用した新規機能性ガラスの開発」
工学研究科 准教授 日下正広
「超音波計測技術を用いた材料評価」
工学研究科 助教 荒木望
「画像処理による表面性状評価法」
経済経営研究所 教授 牧野松代
「地域からのグリーン・エコノミー」

○意見交換会

日時・場所 平成21年12月3日(木):姫路市内

内 容 産学連携センター運営委員等とはりま産学交流会役員と意見交換・交流会

参加教員 産学連携センター長 鈴木胖、姫路産学連携センター長 川島陽介、工学研究科 教授 松田均、助教 大幸裕介、経営学部 教授 吉田照彦、物質理学研究科 教授 住山昭彦、環境人間学部 准教授 吉村美紀、応用情報科学研究科 教授 中本幸一、会計研究科 准教授 土田俊也、経済経営研究所 教授 池田潔、緑環境景観マネジメント研究科 大藪崇司、自然・環境科学研究所 講師 山崎義人、地域ケア開発研究所 准教授 神崎初美

6-4 CASTクラブとの連携活動

西播磨地区における新産業の創出を促進するため、当該地域の研究開発型の企業により設立された「CASTクラブ」と連携し、兵庫県立大学教員を講師として、会員企業のニーズに即した講演会を開催した。

第33回

日時・場所 平成21年5月27日(水):兵庫県立先端科学技術センター

内 容 研究シーズ発表

工学研究科 教授 中村龍哉
「リチウムイオン二次電池とその正極材料」
工学研究科 教授 生津資大
「薄膜材料研究～機械特性評価からデバイス応用まで」

第34回

日時・場所 平成21年9月7日(月):兵庫県立先端科学技術センター

内 容 研究シーズ発表

工学研究科 准教授 倉本圭
「計算機科学とシミュレーションのトレンドと今後の展望」

第35回

日時・場所 平成21年11月19日(木)

内 容 視察研修

岡山県工業技術センター、岡山大学等

第36回

日時・場所 平成22年2月12日(金):まねき食品(株)本社ビル

内 容 講演

産学連携センター長 鈴木胖
「地球温暖化防止への道筋～低炭素社会への転換」

6-5 関係機関との連携活動

○兵庫県企業庁

《播磨科学公園都市視察会》

日 時	平成21年11月25日(水)
場 所	播磨科学公園都市内
内 容	ニュースパルの説明及び見学等



ニュースパル内(施設見学)

○兵庫県丹波県民局

《産学ものづくり交流会》

日 時	平成21年10月23日(金)
場 所	姫路書写キャンパス
内 容	丹波地域の企業経営者等と工学部教授との交流会 見学研究室

工学研究科 教授 岸肇、教授 前中一介、
准教授 藤田孝之、教授 根来誠司、
准教授 武尾正弘、教授 矢澤哲夫、
助教 大幸裕介、教授 奥田孝一



工学部教授との意見交換会の様子

○兵庫県立工業技術センター

《科学技術週間記念講演会》

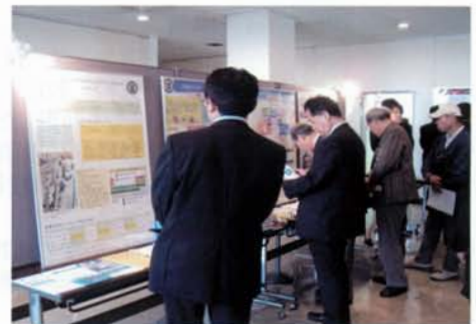
日 時	平成21年4月17日(金)
場 所	兵庫県公館
内 容	講演会

《第15回ひょうご技術交流大会》

日 時	平成21年6月11日(木)
場 所	兵庫県民会館
内 容	基調講演、事例発表、交流会

《研究成果発表会〈テクノピア2009〉》

日 時	平成21年11月13日(金)
場 所	兵庫県立工業技術センター
内 容	産学連携センターパネル展示



テクノピアでのPR展示

○兵庫県立農林水産技術総合センター

《兵庫県農林水産技術連携推進協議会》

日 時	平成21年7月23日(木)、平成22年3月17日(水)
場 所	兵庫県立農林水産技術総合センター、兵庫県職員会館
内 容	農林水産業の課題に対し、産学官が英知を結集して、技術開発等に取り組むことを目標に、60の企業、大学、生産者団体、消費者団体などの法人・個人を会員にして設立協議会を設立。兵庫県立大学も会員として、講演・試験研究事例発表に参加。

○(財)新産業創造研究機構(NIRO)

《兵庫県産学官連携コンソーシアム実務者会議》

日 時	平成21年4月24日(金)
場 所	神戸サンセンタープラザ
内 容	講演、産学官連携に関する報告会、情報交換

《連携会議》

日 時	平成21年8月24日(月)
場 所	神戸キャンパス
内 容	情報交換

《兵庫県産学官連携コンソーシアム推進事業協議会》

日 時	平成22年3月17日(水)
場 所	(財)新産業創造研究機構
内 容	平成21年度事業実施結果報告、情報交換

○21世紀播磨科学技術フォーラム

《第37回セミナー・交流会》

日 時	平成21年8月10日(月)
場 所	姫路キャッスルホテル
内 容	講演会 応用情報科学研究科 教授 白川功 「ITCによる地域医療・福祉への貢献」

《第38回セミナー・交流会》

日 時	平成22年1月29日(金)
場 所	姫路キャッスルホテル
内 容	講演 産学連携センター長 鈴木胖 「兵庫県立大学の新たな展開」 工学研究科 教授 佐藤真一 「太陽光を利用した独創的クリーンエネルギー生成技術の創出に向けて」 高度産業科学技術研究所長 教授 松井真二 「高度産業科学技術研究所の産官公学連携の取り組み」 パネル討論 「産・官・公・学の連携を実りあるものに」 司会 産学連携センター長 鈴木胖 パネラー 高度産業科学技術研究所 教授 木下博雄 工学研究科 教授 前中一介 姫路産学連携センター長 川島陽介

○近畿経済産業局

《産学官連携推進実務者会議》

日 時	平成21年6月2日(火)、平成22年3月3日(水)
場 所	大阪合同庁舎
内 容	大学における産学連携の取組紹介、産学官連携施策、関係機関からの連絡等

○東はりまものづくり交流会

《東はりまものづくり交流会》

日 時	平成21年5月29日(金)、6月17日(水)、8月26日(水)
場 所	兵庫県加古川総合庁舎、他
内 容	講演会

○(財)尼崎地域・産業活性化機構

《尼崎市産学公ネットワーク協議会》

日 時	平成21年8月4日(火)
場 所	尼崎市中小企業センター
内 容	平成21年度事業計画・予算について

○明石市・(財)明石市産業振興財団

《明石テクノネットワークシステム連携会議》

日 時	平成21年6月3日(水)
場 所	明石市立産業交流センター
内 容	参加機関14機関との意見交換

《クローズアップセミナー》

日 時	平成21年12月18日(金)
場 所	明石市立産業交流センター
内 容	産業交流促進講座 緑環境景観マネジメント研究科 教授 平田富士男 「緑は人のためならず」



平田教授

○ひょうご神戸産学学官アライアンス

兵庫県内の大学・高専同士が連携し、企業の技術相談のワンストップ化や大学・高専を超えた研究開発を後押しする「ひょうご神戸産学学官アライアンス」が平成20年5月に設立。神戸大学が窓口となり、兵庫県立大学、神戸高専など19大学、高専が加盟している。

《第2回分野別技術発表会》

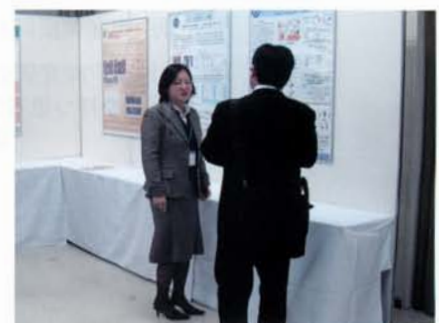
日 時	平成21年9月4日(金)
場 所	神戸国際展示場
内 容	プレゼンテーション 工学研究科 教授 畑豊 「患者の安全・安心のための手術・看護サポートシステムの開発」



畑教授

《第3回分野別技術発表会》

日 時	平成21年11月6日(金)
場 所	神戸市勤労会館
内 容	プレゼンテーション 環境人間学部 准教授 伊藤美紀子 「寿命を制御する食品とミネラル ～寿命を延ばす食品はあるのか～」



伊藤准教授

《研究シーズ発表会～JSTイノベーションブリッジ～》 ※(独)科学技術振興機構と共催

- 日 時** 平成21年12月17日(木)
- 場 所** 秋葉原コンベンションホール
- 内 容** シーズ発表
工学研究科 教授 中村龍哉
「高電圧リチウムイオン二次電池正極材料の調製 ～低温磁性を利用した高電圧正極材料の物性研究～」
工学研究科 准教授 原田泰典
「ショットピーニング技術の冷間接合への応用 ～異種金属薄板同士の冷間における突合わせ接合～」
工学研究科 助教 大幸裕介
「分相・結晶化・表面修飾によるガラスの高機能化」
(コーディネート 産学官連携コーディネーター 瀧澤精一)

《健康科学産業のためのエレクトロニクスセミナー》 ※兵庫エレクトロニクス研究会と共催

- 日 時** 平成21年10月28日(水)
- 場 所** 兵庫県立工業技術センター
- 内 容** 技術紹介
工学研究科 教授 畑豊
「高齢化社会へ向けてのヘルスマニターリングシステムの今後の展望」

- 日 時** 平成22年3月12日(金)
- 場 所** 兵庫県民会館
- 内 容** 技術紹介
工学研究科 准教授 藤田孝之
「貼り付け型健康管理システムに向けてのデバイス開発と要素技術」

○明石市立市民病院

- 日 時** 平成21年4月14日(火)、6月9日(火)、7月1日(水)、7月14日(火)、
7月29日(水)、8月4日(火)、8月11日(火)
- 場 所** 明石市立市民病院
- 内 容** 糖尿病患者在宅治療注射針回収システムを開発
平成21年9月から病院へ販売中



注射針回収容器

○神戸市機械金属工業会

《医療用機器開発研究会講演会》

- 日 時** 平成21年6月19日(金)
- 場 所** 神戸市産業振興センター
- 内 容** 地域ケア開発研究所 准教授 神崎初美
「病を持つ患者さん達が困っている事・
欲しいもの・必要としている福祉用品」



神崎准教授

○X線分析研究懇談会

《例会》

- 日時** 平成21年7月3日(金)
- 場所** (公財)ひょうご産業活性化センター
- 内容** 工学研究科 教授 深浦健三
「Niを使用しないオーステナイト系ステンレス鋼の特性」
高度産業科学技術研究所 客員研究員 元山宗之
「蛍光X線分析そしてマイクロ状態分析～軟X線
分光分析器としてのEPMA～」



元山客員研究員

○(財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI)

《AMPI先端技術講演会》

- 日時** 平成21年9月8日(火)
- 場所** エーリックビル
- 内容** 姫路産学連携センター長 川島陽介
「今なぜ急ぐ、自然エネルギーの利用」



川島教授

《尼崎市地域産業活性化人材養成事業》

- 日時** 平成21年9月9日(水)
- 場所** エーリックビル
- 内容** 工学研究科 准教授 原田泰典
「メカニカル加工の基礎」



原田准教授

○けいはんな新産業創出交流センター

(財)関西文化学術研究都市推進機構

《第14回シーズフォーラム》

- 日時** 平成22年1月26日(火)
- 場所** 関西経済連合会(中ノ島センタービル)
- 内容** 講演
姫路産学連携センター長 川島陽介
「兵庫県立大学における産学官連携の取り組み状況」
シーズ紹介
工学研究科 教授 今高寛晃
「試験管内ウイルス粒子合成技術の開発」
工学研究科 教授 清水勝
「ナノ強誘電体の作製と物性」
工学研究科 教授 持地廣造
「ガスクラスターイオンを利用したタンパク質の質量分析技術」

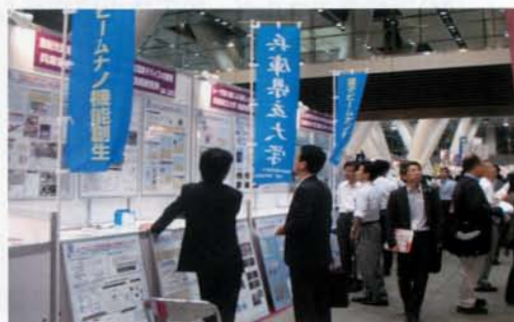
6-6 各種マッチングフェア等への参加

○イノベーション・ジャパン2009

日時	平成21年9月16日(水)~18日(金)
場所	東京国際フォーラム
内容	展示会 高度産業科学技術研究所 教授 望月孝晏 「レーザーX線による新しい材料改質と微細加工の実現」 高度産業科学技術研究所 教授 木下博雄 「コヒーレント光を用いたナノ構造パタン評価」 高度産業科学技術研究所 准教授 内海裕一 「放射光微細加工による3次元マイクロ流体デバイスの開発」



イノベーション・ジャパンの様子



○新技術説明会

(イノベーション・ジャパン2009と同時開催)

日時	平成21年9月16日(水)
場所	東京国際フォーラム
内容	シーズ発表 工学研究科 教授 持地廣造 「ソフトイオン化SIMSの開発」



持地教授

○新技術説明会

日時	平成21年10月29日(木)
場所	(独)科学技術振興機構JSTホール
内容	シーズ発表 工学研究科 教授 矢澤哲夫 「ポリビニルホスホン酸を含有した燃料電池用有機無機ナノハイブリッドガラス膜」

○国際フロンティア産業メッセ2009

日時	平成21年9月3日(木)、4日(金)
場所	神戸国際展示場
内容	産学連携センター紹介パネル展示 講演 工学研究科 教授 畑豊 「患者の安全・安心のための 手術・看護サポートシステムの開発」



国際フロンティア産業メッセの様子

○2009分析展

日 時	平成21年9月2日(水)~4日(金)
場 所	幕張メッセ国際展示場
内 容	高度産業科学技術研究所 松井研究室(ナノ構造科学)

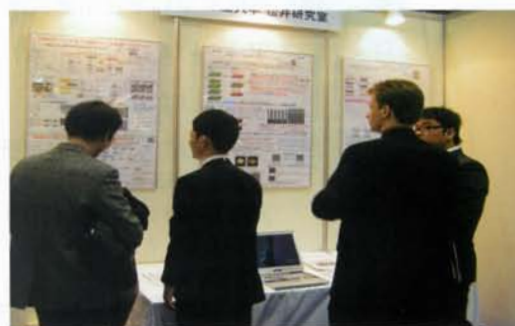


2009分析展の様子

○ナノテク2010

(国際ナノテクノロジー総合展・技術会議)

日 時	平成22年2月17日(水)~19日(金)
場 所	東京ビッグサイト
内 容	高度産業科学技術研究所 松井研究室(ナノ構造科学)



ナノテク2010の様子

○あまがさき産業フェア2009

日 時	平成21年10月29日(木)~30日(金)
場 所	尼崎市中小企業センター
内 容	産学連携センター紹介パネル展示



あまがさき産業フェアの様子

○TOYROビジネスマッチングフェア2009

日 時	平成21年10月15日(木)、16日(金)
場 所	マイドームおおさか
内 容	工学研究科 准教授 松田聡 「DLC加工」 工学研究科 准教授 原田泰典 「チタン深絞り加工」 工学研究科 准教授 阿保政義 「クサビナット」



TOYROビジネスマッチングフェアの様子

6-7 他部局等の主催行事への参加

○世界看護科学学会第1回学術集会

主催	看護学部
日時	平成21年9月19日(土)、20日(日)
場所	神戸国際会議場2号館
内容	学術講演会、企業展示会



世界看護科学学会の様子

○先端技術セミナー2010

主催	高度産業科学技術研究所
日時	平成22年3月11日(木)
場所	イーグレ姫路
内容	挨拶 高度産業科学技術研究所長 教授 松井真二 退官記念講演 高度産業科学技術研究所 教授 望月孝晏 「研究を楽しんで40年」 特別講演 産学連携センター長 鈴木胖 「地球温暖化問題の顕在化と求められる技術・社会変革」 ニュースパル利用産業界の研究報告



先端技術セミナーの様子

○先端リソグラフィフォーラム

主催	高度産業科学技術研究所
日時	平成22年3月12日(金)
場所	イーグレ姫路
内容	挨拶 産学連携センター長 鈴木胖 【EUVリソグラフィ】 高度産業科学技術研究所 教授 木下博雄 「ニュースパルにおける極端紫外線リソグラフィ技術の研究開発」 高度産業科学技術研究所 教授 望月孝晏 「Laser Produced Plasma光源の開発」 EUV/E/ウシオ電機(株) 堀田和明 「EUVL用DPP光源の開発」 【ナノインプリント】 (独)産業技術総合研究所 前田龍太郎 「コストのかからないナノインプリント技術と産業応用」 高度産業科学技術研究所 教授 松井真二 「高度研におけるナノインプリント技術開発」 【MEMS/NEME】 東北大学 教授 江刺正喜 「MEMSの最前線」 高度産業科学技術研究所 教授 服部正 「LIGAプロセスによる微細3次元加工とその展開」 高度産業科学技術研究所 准教授 内海裕一 「放射光プロセスのバイオマイクロシステム応用」



先端リソグラフィフォーラムの様子

○2009商大祭・C-NAS祭

主催	商大祭実行委員会
日時	平成21年10月31日(土)~11月2日(月)
場所	神戸学園都市キャンパス
内容	企業展示会



商大祭・C-NAS祭の様子

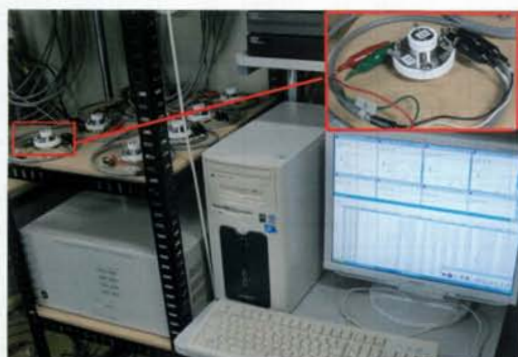
7

地域連携卒業研究

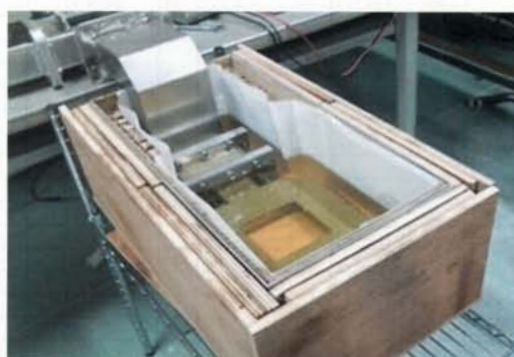
大学の地域貢献を進めるため、地元の企業から卒業研究のテーマを募集し、地域連携卒業研究を実施する。受入研究室と企業間において、実施内容、方法等について検討を行い、平成21年度は下記の4件の研究テーマを実施した。

今後、企業ニーズに直結した研究テーマを産学連携のもと実施し、卒業研究として実施することにより、学生の実践的な技術感覚の涵養と視野の拡大につなげていく。

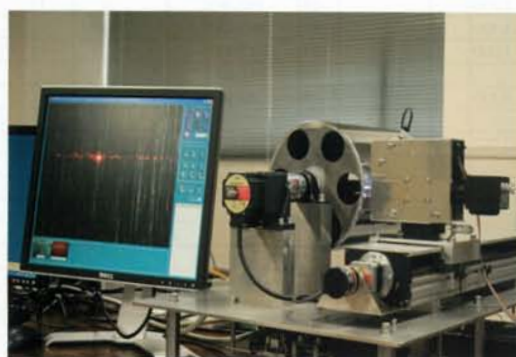
テーマ	企業名	受入教員
1 炭化綿を用いたリチウムイオン電池正極の調整	株式会社赤松工業	工学研究科 電気系工学専攻 中村龍哉(教授)
2 マイクロ波を利用した液体加熱装置に関する研究	常盤堂製菓株式会社	工学研究科 電気系工学専攻 河合正(准教授) 太田勲(特任教授)
3 鏡面ドラム表面上の微小欠陥検出に関する研究	アークハリマ株式会社	工学研究科 電気系工学専攻 藤原関夫(教授)
4 パンの画像識別に関する研究	株式会社ブレイン	工学研究科 電気系工学専攻 森本雅和(助教)



(テーマ1) 充放電測定装置



(テーマ2) マイクロ波液体加熱装置



(テーマ3) 金属鏡面の欠陥検査

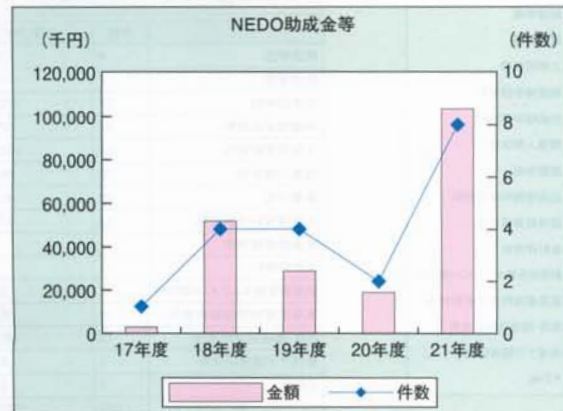
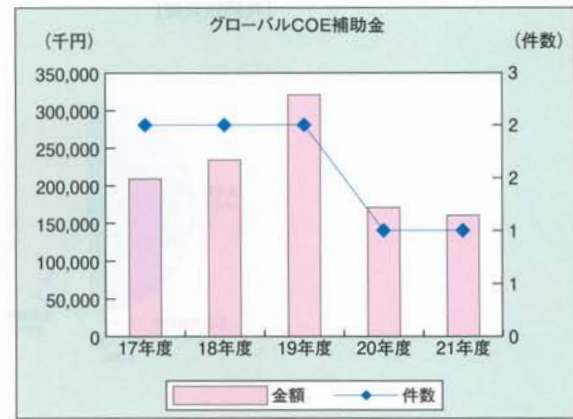
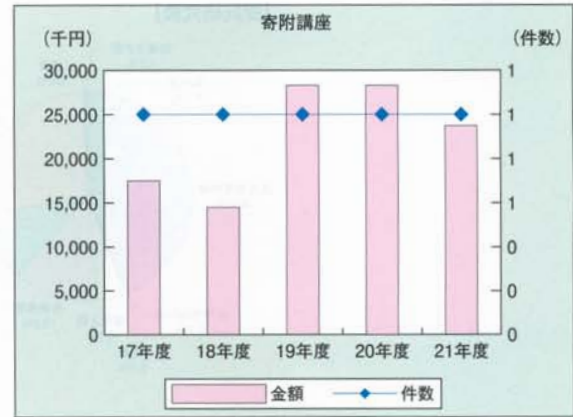
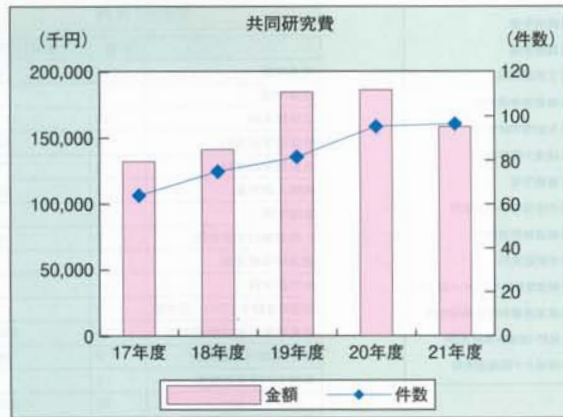
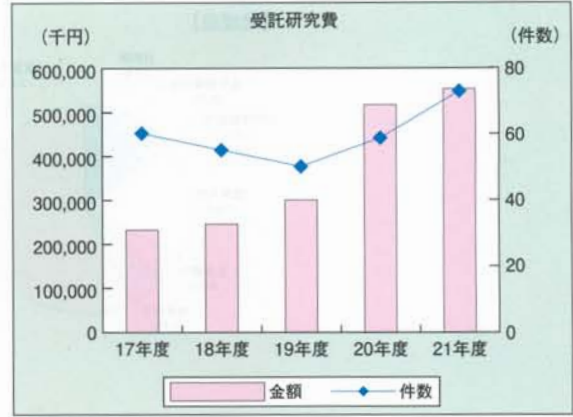
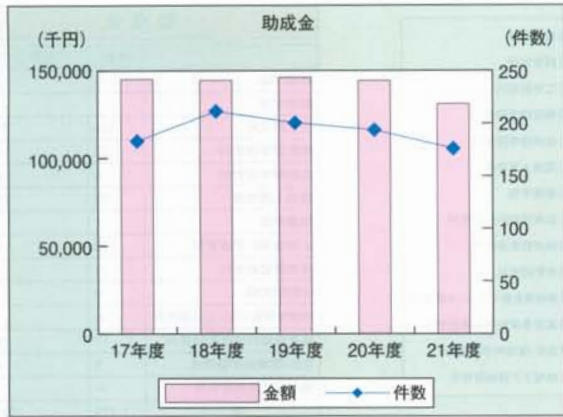


(テーマ4) パン等の画像識別システム

8-1 外部資金の推移

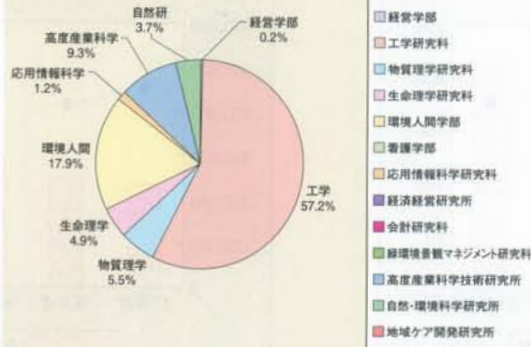
(単位:千円)

年度	区分	助成金		受託研究費		共同研究費		寄附講座		科学研究費等 (厚生労働省分含む)	グローバルCOE補助金		NEDO助成金等		計		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		件数	金額	件数	金額	件数	金額	
21	経済学部			4	3,601					8	23,700					12	27,301
	経営学部	1	300							7	11,409					8	11,709
	工学研究科	108	75,335	38	151,880	58	67,409	1	24,000	57	122,519		2	12,475	264	453,618	
	物質理学研究科	13	7,221	6	59,085					32	87,638		1	9,686	52	163,630	
	生命理学研究科	6	6,500	5	73,270	4	5,974			30	162,132	1	159,588	2	43,756	48	451,220
	環境人間学部	25	23,620	6	22,493	7	8,545			25	46,885				63	101,543	
	看護学部			1	350					26	40,145			1	1,735	28	42,230
	応用情報科学研究科	2	1,600	2	4,000	4	4,075			12	21,975		1	7,800	21	39,450	
	経済経営研究所															0	0
	会計研究科									1	800				1	800	
	緑地環境マネジメント研究科									2	3,349				2	3,349	
	高度産業科学技術研究所	17	12,200	8	210,747	24	75,562			8	28,470		1	29,000	58	355,979	
	自然・環境科学研究科	3	4,900	2	28,986					13	20,417				18	54,303	
	地域ケア開発研究所			1	709					3	8,600				4	9,309	
	その他									1	1,400				1	1,400	
計	175	131,676	73	555,121	97	161,565	1	24,000	225	579,439	1	159,588	8	104,452	580	1,715,841	
20	経済学部	1	350	2	1,001	1	1,500			10	28,970				14	31,821	
	経営学部	2	2,189							15	13,045				17	15,234	
	工学研究科	115	83,914	25	106,730	53	74,312	1	28,000	52	112,259		1	11,375	247	416,590	
	物質理学研究科	14	11,170	7	44,113	2	2,500			28	101,604				51	159,387	
	生命理学研究科	10	11,480	7	66,244	3	4,161			34	139,632	1	171,600		55	393,117	
	環境人間学部	25	16,078	8	43,633	2	2,540			27	30,405				62	92,656	
	看護学部									26	48,063				26	48,063	
	応用情報科学研究科	2	1,600	1	1,050	4	6,000			8	30,990		1	7,999	16	47,639	
	経済経営研究所														0	0	
	会計研究科									1	780				1	780	
	高度産業科学技術研究所	18	17,430	8	252,821	30	94,965			7	35,807				63	401,023	
	自然・環境科学研究科	2	600	1	1,261					24	24,132				27	25,993	
	地域ケア開発研究所									2	7,807				2	7,807	
	その他	1	300							1	2,210				2	2,510	
	計	190	145,111	59	516,853	95	185,978	1	28,000	235	575,704	1	171,600	2	19,374	583	1,642,620
19	経済学部			2	3,580	1	1,500			9	26,510				12	31,590	
	経営学部	2	400							11	12,030				13	12,430	
	工学研究科	128	84,161	19	68,276	38	99,383	1	28,000	46	119,690		2	18,572	234	418,082	
	物質理学研究科	21	17,400	4	27,198	2	2,500			30	95,750				57	142,848	
	生命理学研究科	6	17,386	3	36,600	3	4,501			30	138,659	1	169,650		43	366,796	
	環境人間学部	19	7,460	5	17,413	3	2,700			14	19,490				41	47,063	
	看護学部									22	40,790				22	40,790	
	応用情報科学研究科	5	2,200	1	3,150	4	5,500			5	19,392		2	9,931	17	40,173	
	経済経営研究所														2	575	
	会計研究科									1	1,040				1	1,040	
	高度産業科学技術研究所	19	16,230	14	143,266	29	68,414			4	17,780				66	245,690	
	自然・環境科学研究科	1	1,000							15	22,070				16	23,070	
	地域ケア開発研究所	1	1,030			1	1,117			4	20,740	1	154,000		7	176,887	
	その他									1	5,460				1	5,460	
	計	202	147,267	50	300,058	81	185,615	1	28,000	192	539,401	2	323,650	4	28,503	532	1,552,494
18	経済学部			1	1,803	1	1,500			10	30,420				12	33,723	
	経営学部									12	11,900				12	11,900	
	工学研究科	133	85,830	21	70,986	37	45,322			45	95,220				236	297,358	
	物質理学研究科	19	16,800	6	36,544	2	1,750			28	100,780		1	23,322	56	179,196	
	生命理学研究科	6	4,000	5	34,507	2	4,499			32	105,650	1	74,811		46	223,467	
	環境人間学部	30	15,180	7	24,140	1	1,200			13	13,900				51	54,420	
	看護学部									24	41,408				24	41,408	
	応用情報科学研究科	7	4,100	3	4,800	7	5,195			5	20,300		2	12,988	24	47,383	
	経済経営研究所			2	3,300										2	3,300	
	高度産業科学技術研究所	18	16,070	10	71,470	25	83,462	1	15,000	6	21,200		1	14,950	61	222,152	
	自然・環境科学研究科	1	1,990							13	12,500				14	14,490	
	地域ケア開発研究所	3	1,400							2	16,470	1	155,496		6	173,366	
	その他														0	0	
	計	217	145,370	55	247,550	75	142,928	1	15,000	190	469,748	2	230,307	4	51,260	544	1,302,163
	17	経済学部			1	1,530					7	9,400				8	10,930
経営学部		1	1,000							15	16,600				16	17,600	
工学研究科		110	78,065	24	44,605	27	49,299			46	112,328				207	284,297	
物質理学研究科		11	10,900	2	1,310	1	1,000			31	127,160		1	2,288	46	142,658	
生命理学研究科		18	14,350	8	41,326	1	500			35	120,290	1	80,300		63	256,766	
環境人間学部		19	10,728	10	28,870	1	1,510			15	22,100				45	63,208	
看護学部		1	7,000							23	44,600				24	51,600	
応用情報科学研究科		6	4,800	4	6,050	3	8,992			5	16,400				18	36,242	
経済経営研究所										1	600				1	600	
高度産業科学技術研究所		13	18,580	10	104,000	30	67,131	1	17,500	5	25,980				59	233,191	
自然・環境科学研究科		2	530	2	3,650					12	12,000				16	16,180	
地域ケア開発研究所												1	127,000		1	127,000	
その他						1	1,000								1	1,000	
計		181	145,953	61	231,341	64	129,432	1	17,500	195	507,458	2	207,300	1	2,288	505	1,241,272



8-2 平成21年度 外部資金の受入状況

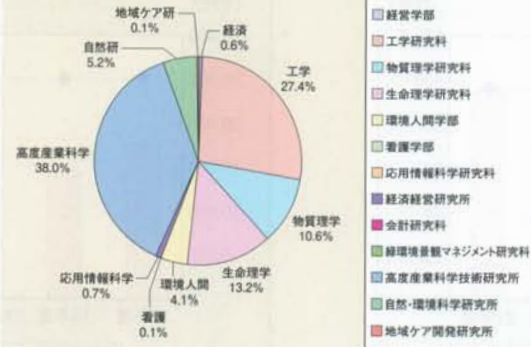
【助成金】



助成金

	件数	金額(千円)
経済学部	—	—
経営学部	1	300
工学研究科	108	75,335
物質理学研究科	13	7,221
生命理学研究科	6	6,500
環境人間学部	25	23,620
看護学部	—	—
応用情報科学研究科	2	1,600
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	—	—
高度産業科学技術研究所	17	12,200
自然・環境科学研究所	3	4,900
地域ケア開発研究所	—	—
計	175	131,676

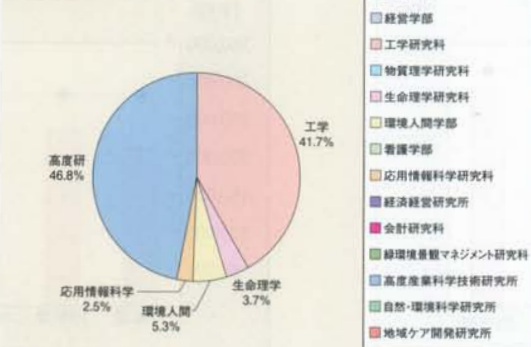
【受託研究費】



受託研究費

	件数	金額(千円)
経済学部	4	3,601
経営学部	—	—
工学研究科	38	151,880
物質理学研究科	6	59,085
生命理学研究科	5	73,270
環境人間学部	6	22,493
看護学部	1	350
応用情報科学研究科	2	4,000
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	8	210,747
高度産業科学技術研究所	2	28,986
自然・環境科学研究所	1	709
地域ケア開発研究所	1	709
計	73	555,121

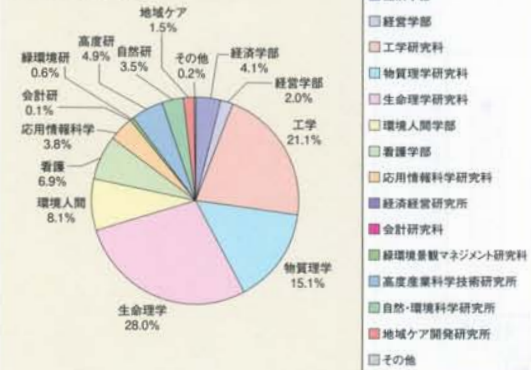
【共同研究費】



共同研究費

	件数	金額(千円)
経済学部	—	—
経営学部	—	—
工学研究科	58	67,409
物質理学研究科	—	—
生命理学研究科	4	5,974
環境人間学部	7	8,545
看護学部	—	—
応用情報科学研究科	4	4,075
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	24	75,562
高度産業科学技術研究所	—	—
自然・環境科学研究所	—	—
地域ケア開発研究所	—	—
計	97	161,565

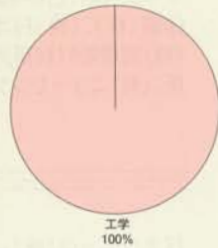
【文部科学省科学研究費等】



文部科学省科学研究費等

	件数	金額(千円)
経済学部	8	23,700
経営学部	7	11,409
工学研究科	57	122,519
物質理学研究科	32	87,638
生命理学研究科	30	162,132
環境人間学部	25	46,885
看護学部	26	40,145
応用情報科学研究科	12	21,975
経済経営研究所	—	—
会計研究科	1	800
緑環境景観マネジメント研究科	2	3,349
高度産業科学技術研究所	8	28,470
高度産業科学技術研究所	13	20,417
自然・環境科学研究所	3	8,600
地域ケア開発研究所	—	—
その他	1	1,400
計	225	579,439

【寄附講座】



工学
100%

- 経済学部
- 経営学部
- 工学研究科
- 物質理学研究科
- 生命理学研究科
- 環境人間学部
- 看護学部
- 応用情報科学研究科
- 経済経営研究所
- 会計研究科
- 緑環境景観マネジメント研究科
- 高度産業科学技術研究所
- 自然・環境科学研究科
- 地域ケア開発研究所

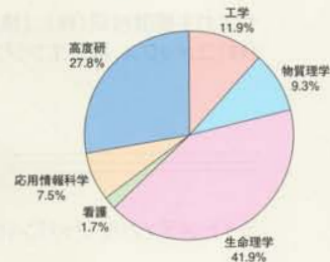
【グローバルCOE補助金】



生命理学
100%

- 経済学部
- 経営学部
- 工学研究科
- 物質理学研究科
- 生命理学研究科
- 環境人間学部
- 看護学部
- 応用情報科学研究科
- 経済経営研究所
- 会計研究科
- 緑環境景観マネジメント研究科
- 高度産業科学技術研究所
- 自然・環境科学研究科
- 地域ケア開発研究所

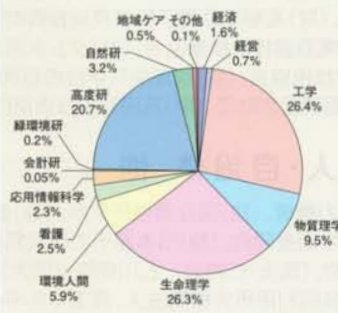
【NEDO助成金等】



工学 11.9%
物質理学 9.3%
生命理学 41.9%
高度研 27.8%
応用情報科学 7.5%
看護 1.7%

- 経済学部
- 経営学部
- 工学研究科
- 物質理学研究科
- 生命理学研究科
- 環境人間学部
- 看護学部
- 応用情報科学研究科
- 経済経営研究所
- 会計研究科
- 緑環境景観マネジメント研究科
- 高度産業科学技術研究所
- 自然・環境科学研究科
- 地域ケア開発研究所

【合計】



工学 26.4%
生命理学 26.3%
物質理学 9.5%
高度研 20.7%
環境人間 5.9%
看護 2.5%
応用情報科学 2.3%
会計研 0.05%
看護 0.2%
緑環境研 0.2%
自然 3.2%
地域ケア 0.5%
その他 0.1%
経済 1.6%
経営 0.7%

- 経済学部
- 経営学部
- 工学研究科
- 物質理学研究科
- 生命理学研究科
- 環境人間学部
- 看護学部
- 応用情報科学研究科
- 経済経営研究所
- 会計研究科
- 緑環境景観マネジメント研究科
- 高度産業科学技術研究所
- 自然・環境科学研究科
- 地域ケア開発研究所
- その他

寄附講座

	件数	金額(千円)
経済学部	—	—
経営学部	—	—
工学研究科	1	24,000
物質理学研究科	—	—
生命理学研究科	—	—
環境人間学部	—	—
看護学部	—	—
応用情報科学研究科	—	—
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	—	—
自然・環境科学研究科	—	—
地域ケア開発研究所	—	—
計	1	24,000

グローバルCOE補助金

	件数	金額(千円)
経済学部	—	—
経営学部	—	—
工学研究科	—	—
物質理学研究科	—	—
生命理学研究科	1	159,588
環境人間学部	—	—
看護学部	—	—
応用情報科学研究科	—	—
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	—	—
自然・環境科学研究科	—	—
地域ケア開発研究所	—	—
計	1	159,588

NEDO助成金等

	件数	金額(千円)
経済学部	—	—
経営学部	—	—
工学研究科	2	12,475
物質理学研究科	1	9,686
生命理学研究科	2	43,756
環境人間学部	—	—
看護学部	1	1,735
応用情報科学研究科	1	7,800
経済経営研究所	—	—
会計研究科	—	—
緑環境景観マネジメント研究科	—	—
高度産業科学技術研究所	1	29,000
自然・環境科学研究科	—	—
地域ケア開発研究所	—	—
計	8	104,452

合計

	件数	金額(千円)
経済学部	12	27,301
経営学部	8	11,709
工学研究科	264	453,618
物質理学研究科	52	163,630
生命理学研究科	48	451,220
環境人間学部	63	101,543
看護学部	28	42,230
応用情報科学研究科	21	39,450
経済経営研究所	0	0
会計研究科	1	800
緑環境景観マネジメント研究科	2	3,349
高度産業科学技術研究所	58	355,979
自然・環境科学研究科	18	54,303
地域ケア開発研究所	4	9,309
その他	1	1,400
計	580	1,715,841

9

協力機関・企業

あ行

アークハリマ(株)、アース製菓(株)、(株)アイメディック、(株)赤松工業、旭化成せんい(株)、旭硝子(株)、旭硝子(株)中央研究所、旭陽化学工業(株)、(株)アステック、(株)アドミクス、アルストム(株)、出光興産(株)、(株)イムラ材料開発研究所、(株)ヴィック戦略経営センター、大阪ガス(株)、大阪機工(株)、大阪有機化学工業(株)、(株)オプトニクス精蜜、オムロン(株)

か行

ガウス(株)、花王(株)、(株)カネカ、カルソニックカンセイ(株)、川研ファインケミカル(株)、関西電力(株)、(株)菊池製作所、(株)キャタラー、キャノン(株)、金属技研(株)、(株)金星、クノール食品(株)開発工業化センター、(株)クラレ、(株)小糸製作所、(株)香寺ハーブガーデン、(株)神戸製鋼所、コバレントマテリアル(株)、(株)コペルコマテリアル鋼管

さ行

サムスン電子(株)、佐和鍍金工業(株)、サンアロイ工業(株)、産業振興(株)、(株)三共製作所、(株)三徳、サントリーホールディングス(株)、JSR(株)、シスメックス(株)、(株)資生堂、清水電設工業(株)、昭和電工(株)研究開発センター、(株)シルバロイ、神港精機(株)、信越ポリマー(株)、スイコー(株)、進工業(株)、(株)ステップワン、スミス・アンド・ニューフェードスコピー(株)、住友金属工業(株)、住友電気工業(株)、住友ベークライト(株)、(株)ソフト99コーポレーション

た行

第一高周波工業(株)、ダイセル化学工業(株)、ダイネン(株)、大和産業(株)、竹内鉄工(株)、田中貴金属工業(株)、チッソ(株)、(株)ツバキエマソン、帝人ファーマー(株)、テクノアドバンス(株)、電気化学工業(株)、東海カーボン(株)、東海高熱工業(株)、東京エレクトロン(株)、東京応化工業(株)、東芝セミコンダクター社(株)、東芝三菱電機産業システム(株)、東北化工(株)、東洋紡績(株)、東レ(株)、(株)東レリサーチセンター、常盤堂製菓(株)、(株)トクヤマ、(株)トヨタIT開発センター、(株)豊田中央研究所

な行

ナガセケムテックス(株)、(株)ナノクリエート、(株)ニコン、西芝電機(株)、日研ザイル(株)、日工金属工業(株)、日産化学工業(株)、ニッタ(株)、日本エレクトロプレイングエンジニアーズ(株)、日本毛織(株)、日本航空電子工業(株)、日本写真印刷(株)、(株)日本触媒、日本ストライカー(株)、日本曹達(株)高機能材料研究所、日本電信電話(株)物性科学基礎研究所、(有)ニューセンサー開発

は行

パナソニック(株)、パナソニックエレクトロニックデバイス(株)、(株)ハマダ、(株)半導体先端テクノロジーズ、バンドー化学(株)、ヒガシマル醤油(株)、(株)日立製作所、フィガロ技研(株)、(株)フジクラ、フジコー(株)、(株)不二越、(株)富士通研究所、富士通テン(株)、(株)プリチストン、古野電気(株)、(株)ブレイン、ブンセン(株)、平和発條(株)、(株)ベンチャーラボ、HOYA(株)、ホシデン(株)、(株)堀場製作所、(株)ホロン、(株)ホンダリサーチ・インスティテュート・ジャパン

ま行

マイクロソフト(株)、マエカワテイスト(株)、御国色素(株)、三井造船(株)、(株)ミックウェア、三菱瓦斯化学(株)、三菱プレシジョン(株)、三菱レイヨン(株)、(株)ミツワハイテック、(有)宮原産業、(株)ムラタ、明昌機工(株)

や行

ヤエガキ醗酵技研(株)、(株)山田養蜂場、(株)ユニオン電機、(株)ユメックス、横田エンジニアリング(株)

ら行

ライト・メディカル・ジャパン(株)、(株)ルネサンステクノロジー

財団法人

(財)天田金属加工機械技術振興財団、(財)淡路島くとうみ協会、(財)飯島記念食品科学振興財団、(財)池谷科学技術振興財団、(財)泉科学技術振興財団、(財)浦上食品・食文化振興財団、(財)川西記念新明和教育財団、(財)川西報公会、(財)関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団、(財)軽金属奨学会、(財)山陽特殊製鋼文化振興財団、(財)自然環境研究センター、(財)新産業創造研究機構、(財)住友財団、(財)先端加工機械技術振興協会、(財)高橋産業経済研究財団、(財)高柳記念電子科学技術振興財団、(財)テレコム先端技術研究支援センター、(財)日工記念事業団、(財)日本証券奨学財団、(財)発電設備技術検査協会、(財)ダム水源環境整備センター、(財)光科学技術研究振興財団、(財)姫路工業大学後援財団、(財)ひょうご科学技術協会、(財)兵庫県科学技術振興財団、(財)府中市まちづくり振興公社、(財)マツダ財団、(財)村田学術振興財団、(財)矢崎科学技術振興記念財団、(財)吉田科学技術財団、(財)レーザー技術総合研究所

独立行政法人・自治体 他

(独)宇宙航空研究開発機構、(独)科学技術振興機構、(独)国際協力機構、(独)国立環境研究所、(独)産業技術総合研究所、(独)情報通信研究機構、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)日本学術振興会、(独)日本原子力研究開発機構、(独)物資・材料研究機構、(独)理化学研究所、(医法)内海慈仁会 姫路北病院、(医法)光寿会、(医法)仁寿会 石川病院、(国大法)九州大学、(国大法)千葉大学、(国大法)東京大学、学校法人東京理科大学、上海理工大学、大学共同利用研究機関法人、高エネルギー加速器研究機構、中西奨学会、NPO法人現代経営学研究所、総務省近畿総合通信局、文部科学省、文部科学省研究振興局、農林水産省、明石市、情報ストーリー推進機構、銀の馬車道ネットワーク協議会、情報ネットワークゆうゆ、ビタミンB研究委員会、北海道立工業試験場、兵庫県住宅供給公社

10

知的財産本部

兵庫県立大学では、大学で創出される知的財産を組織として適切に管理・活用し、技術移転等による社会・産業界への貢献に寄与することを目的として、平成17年4月に「知的財産本部」(本部長は産学連携センター長が兼務)を設置した。

知的財産本部の業務は以下のとおりである。

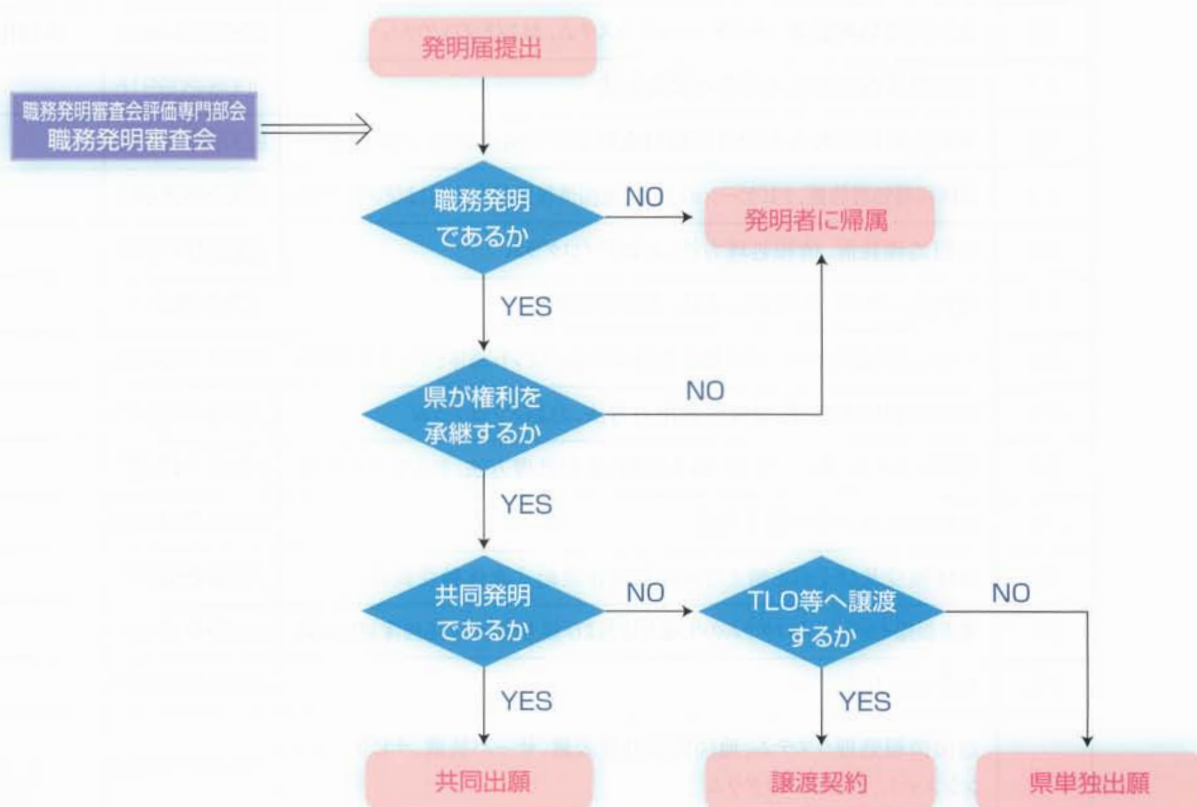
- 1) 知的財産に係る基本的な方針の企画及び立案
- 2) 知的財産の創出、保護、管理及び活用
- 3) 知的財産に係る財務管理
- 4) 知的財産をシーズとする共同研究、受託研究の企画及び推進
- 5) 知的財産の管理及び活用におけるTLO等外部機関との連携
- 6) 知的財産を経営資源とする大学発ベンチャーの創出及び支援

大学教員が発明を行った場合は知的財産本部へ発明届を提出することになっており、当該発明に係る権利の取扱いは、職務発明審査会評価専門部会における予備的審査を経て、最終的には職務発明審査会での審査に基づき決定される。(下図参照)。

平成21年度の発明審査の状況及び特許出願状況は以下のとおり。

- ・ 発明届出数:39
- ・ うち県が権利を承継した数(機関帰属件数):32
- ・ 特許出願件数 29(県単独出願12、企業等との共同出願17)

機関帰属とした発明については、順次、特許出願を行い、権利化を図っている。



技術移転可能な出願特許一覧

(H22.3.31現在)

番号	発明名称	出願番号	備考
1	半導体ウエファの局在準位測定装置及び方法	2000-338823	権利化済
2	静電噴霧法を用いて紡糸化したシリカ不織布及びその製造方法	2005-248430	
3	静電噴霧法を用いて紡糸化したチタニア-シリカ複合繊維不織布及びその製造方法	2005-248431	
4	ホログラフィによる画像記録装置および画像記録方法	2006-305047	
5	地図情報処理装置、ナビゲーションシステム、およびプログラム	2006-210641	権利化済
6	極端紫外光源用反射鏡汚染防止方法及び露光装置	2006-223743	
7	静電噴霧を利用した生体適合性シリカ繊維の製造方法	2007-010058	
8	燃料電池用電極とその製造方法並びに該電極を用いた膜電極接合体	2007-229401	
9	回折格子の製造方法	2007-201570	
10	回折格子の製造方法	2007-207821	
11	二ホウ化マグネシウムナノチューブ及びその製造方法	2008-011964	
12	映像伝送時間測定システムおよび映像伝送時間測定方法	2008-008313	
13	薄膜試験片構造体、その製造方法、その引張試験方法及び引張試験装置	2007-335667	
14	回折格子の製造方法	2008-007044	
15	酸化チタンナノチューブを用いた機能性材料	2008-052746	
16	地図情報処理装置、ナビゲーションシステム、およびプログラム	2008-214895	権利化済
17	強磁性体含有粉末及びその製造方法	2008-209916	
18	金属造形物の製造方法及び積層造形用の金属樹脂複合体粉末	2009-049220	
19	地図情報処理装置、ナビゲーション装置、地図情報処理方法、およびプログラム	2009-005645	
20	情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム	2009-041972	
21	連携表示装置、連携表示方法、及びプログラム	2009-184111	
22	イオン伝導性配向セラミックスの製造方法およびそのイオン伝導体を用いた燃料電池	2009-185885	
23	地域情報出力装置、地域情報出力方法、およびプログラム	2009-179813	
24	情報システム、サーバ装置、端末装置、情報処理方法、およびプログラム	2009-147307	
25	強磁性体及びその製造方法	2009-262308	
26	流体軸受及びそれを備えた非対称流体供給式流体軸受装置	2009-252677	
27	複素振幅インラインホログラムの生成方法および該方法を用いる画像記録装置	2009-012425	
28	X線屈折方法	2010-078858	
29	地図情報処理システム、地図情報処理装置、サーバ装置、ナビゲーションシステム、およびプログラム	2009-271264	
30	地図情報処理装置、地図情報処理方法、およびプログラム	2009-271263	

産学連携センター運営委員会・職務発明審査会等

(1) 産学連携センター運営委員会

産学連携センターの運営に関し、次に掲げる事項を審議するため、産学連携センター運営委員会を設置しています。また、関係機関との連携を図るため、学外の機関からも委員に就任いただいている。

- ① 産学連携の基本的事項に係る方針及び計画に関すること。
- ② 産学連携センターの新規事業や既存事業の改廃に関すること。
- ③ 前2号に掲げるもののほか、センター長が審議することが必要と認めるセンターの運営に関する重要事項

《21年度 産学連携センター運営委員》

区 分	所 属	職 名	氏 名
委 員 長	兵庫県立大学産学連携センター	副学長兼産学連携センター長	鈴木 三 胖
副委員長	兵庫県立大学姫路産学連携センター (兵庫県立大学大学院工学研究科)	姫路産学連携センター長 (教 授)	川島 陽介
委 員	兵庫県立大学経済学部	教 授	加藤 恵正
	兵庫県立大学経営学部	教 授	吉田 照彦
	兵庫県立大学大学院工学研究科	教 授	松田 均
	兵庫県立大学大学院物質理学研究科	教 授	住山 昭彦
	兵庫県立大学大学院生命理学研究科	教 授	吉川 信也
	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	吉村 美紀
	兵庫県立大学看護学部	講 師	谷田 恵子
	兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科	教 授	中本 幸一
	兵庫県立大学大学院会計研究科	准教授	土田 俊也
	兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科	講 師	大藪 崇司
	兵庫県立大学経済経営研究所	教 授	池田 潔
	兵庫県立大学高度産業科学技術研究所	教 授	望月 孝晏
	兵庫県立大学自然・環境科学研究所	講 師	山崎 義人
	兵庫県立大学地域ケア開発研究所	准教授	神崎 初美
	(財)新産業創造研究機構	専務理事	糸賀 興右
	県立工業技術センター	所 長	北村 新三
県立工業技術センター	次長(総括担当兼総務部長)	増田 登司	
兵庫県立大学事務局企画調整部社会貢献課	課 長	中尾 裕子	

(2) 職務発明審査会

以下の事項を審査するため、学内に職務発明審査会を設置し、原則として毎月1回開催しています。

- ①職務発明であるかの認定
- ②職務発明について県が権利を承継するかの決定
- ③特許出願
- ④審査請求
- ⑤権利の譲渡・放棄
- ⑥職務発明審査会の決定に対する教職員からの不服の申出
- ⑦その他審査が必要と認められる事項

《21年度 職務発明審査会委員》

区分	所属・役職	氏名	区分	所属・役職	氏名
会長	学長	熊谷 信昭	委員	看護学部長	野並 葉子
				応用情報科学研究科長	稲田 紘
副会長	副学長	鈴木 胖		会計研究科長	瓦田太賀四
委員	経済学部長	生越 利昭		緑環境景観マネジメント研究科	中瀬 勲
	経営学部長	鳥邊 晋司		経済経営研究所長	牧野 松代
	工学研究科長	内田 仁		高度産業科学技術研究所長	松井 真二
	物質理学研究科長	馬越 健次		自然・環境科学研究所長	江崎 保男
	生命理学研究科長	新免 輝男		地域ケア開発研究所長	山本あい子
	環境人間学部長	渡邊 敏明		事務局長	大原 義弘

(3) 職務発明審査会評価専門部会

職務発明審査会における審査を適切かつ迅速に行うため、職務発明審査会に評価専門部会を設置している。また、外部専門家を加えて、目利き機能の充実を図っている。

《21年度 職務発明審査会評価専門部会委員》

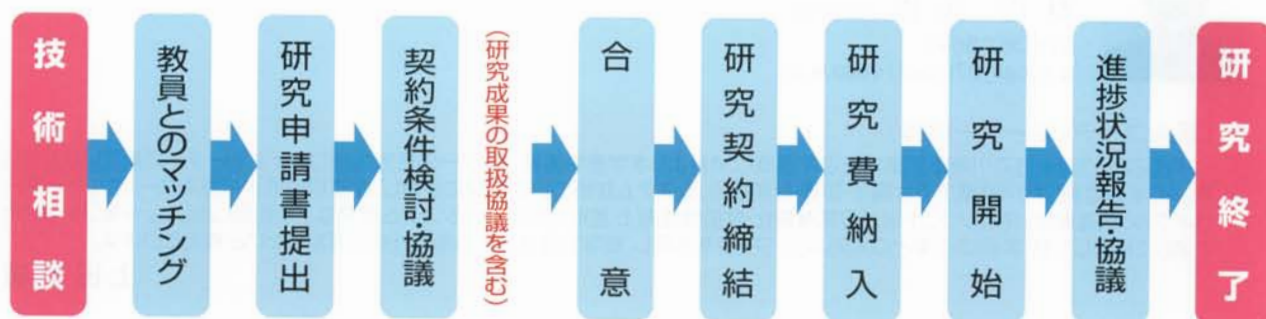
区分	所属	職名	氏名
部会長	知的財産本部長(副学長兼務)		鈴木 胖
委員	経営学部	教授	當間 克雄
	工学研究科	教授	畠山 賢一
	工学研究科	教授	北村 光孝
	工学研究科	教授	山名 一成
	生命理学研究科	教授	新免 輝男
	高度産業科学技術研究所	教授	松井 真二
	事務局	事務局長	大原 義弘
	(財)新産業創造研究機構	—	(案件に応じた適任者が出席)

参考1 産学連携センター業務

- (1)産業界との共同研究及び受託研究の企画及び推進
- (2)産業界等との先端的共同研究プロジェクトの実施支援
- (3)教員・研究室とその研究内容の紹介
- (4)新たな交流企業の開拓
- (5)各種相談業務
- (6)産学連携にかかるコーディネート業務
- (7)関係外部機関との連携体制の構築
- (8)大学発ベンチャー企業創出支援

	共同研究	受託研究	研究助成
内 容	企業等から研究者及び研究経費等、又は研究経費を受け入れて、大学教員と共同研究相手方の研究者が対等の立場で共通の課題について共同で行う研究	企業等から研究費を受け入れ、委託された課題について行う研究	学術研究の奨励を目的とした寄附金
研究成果の取扱い	原則として県と共同研究相手方との共有とし、その貢献度に応じた持分割合とする	県への帰属を原則とする	県へ帰属する

共同研究・受託研究の申込手順



提出書類の
様式は

大学ホームページ
(<http://www.u-hyogo.ac.jp>)

研究・産学連携

知的財産本部:書式関係集

の手順で
取り出すことが
出来ます。

参考2 研究者データベース

技術相談等の産学連携に資するため、本学教員の研究内容等をインターネットで検索出来る研究者データベースを構築しています。

教員のプロフィール、研究内容、所属学会、役職、所属、著作、論文、業績、得意な講演テーマ等が掲載されており、キーワードによる検索も出来ます。

データベースは
URL (<http://kyoin.u-hyogo.ac.jp/>) で
閲覧することが出来ます。

大学ホームページ
(<http://www.u-hyogo.ac.jp/>)

研究・産学連携

研究支援情報等:研究者データベース

の手順でも閲覧できます。

参考3 産学連携センターコーディネーター紹介

神戸キャンパス



研究企画コーディネーター

こう づき ひで のり
上月 秀徳

078-367-8642
hidenori_kouzuki01@pref.hyogo.lg.jp



研究企画コーディネーター

うえ だ すみ ひろ
上田 澄廣

078-367-8647
u_hyogo_15@pref.hyogo.lg.jp



知的財産コーディネーター

はやしたに まさ お
林谷 正雄 (知的財産)

078-367-8645
u_hyogo_07@pref.hyogo.lg.jp

姫路書写キャンパス



研究企画コーディネーター

やつ づか みつ やす
八束 充保

079-267-4995
yatuzuka@eng.u-hyogo.ac.jp



技術移転コーディネーター

まつ い やす あき
松井 康明

079-267-4997
y_matsui@eng.u-hyogo.ac.jp

〈新人コーディネーター挨拶〉

平成22年3月末日で川崎重工(株)を定年退職し、4月より本学産学連携センターの研究企画コーディネーターに着任いたしました。40年間勤務した川崎重工では電子・制御・計測技術、システム技術の研究開発に従事し、産業用ロボット、ガスタービン、モーターサイクル、鉄道車両、発電プラントなどの高機能化・付加価値向上・差別化のためのシステム開発などを担当しました。今後、技術開発を通じて構築した官・学・他の企業との人的ネットワークを活用し、産学官連携を進め地域社会に貢献したいと考えています。

上田 澄廣

産学連携に関する相談窓口

産学連携センター・知的財産本部

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3-3
神戸ハーバーランドセンタービル21F
TEL:078(367)8642 FAX:078(362)0654

姫路産学連携センター

〒671-2280 姫路市書写2167
姫路書写キャンパス本館5F
TEL:079(267)4996 FAX:079(266)8868

平成21年度
兵庫県立大学 産学連携センター年報

<発行>

平成22年6月

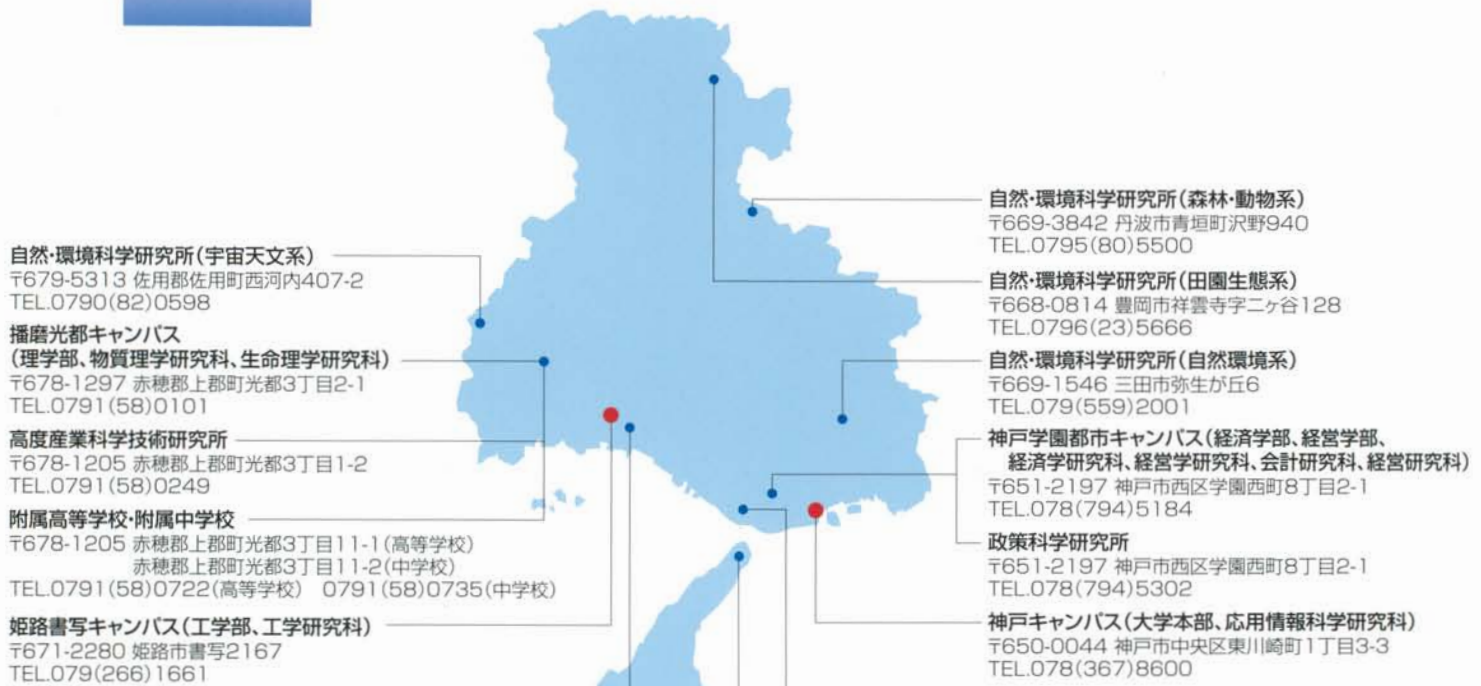
産学連携センター・知的財産本部

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3-3

神戸ハーバーランドセンタービル21F

TEL:078(367)8642 FAX:078(362)0654

キャンパス紹介



姫路産学連携センター

〒671-2280
姫路市書写2167
姫路書写キャンパス本館5F
TEL.079(267)4996
FAX.079(266)8868

産学連携センター・知的財産本部

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1丁目3-3
神戸ハーバーランドセンタービル21F
TEL.078(367)8642
FAX.078(362)0654



姫路新在家キャンパス(環境人間学部、環境人間学研究科)

〒670-0092 姫路市新在家本町1丁目1-12
TEL.079(292)1515



明石キャンパス(看護学部、看護学研究科)

〒673-8588 明石市北王子町13-71
TEL.078(925)0860

地域ケア開発研究所

〒673-8588 明石市北王子町13-71
TEL.078(925)9605

自然・環境科学研究所(景観園芸系)

〒656-1726 淡路市野島常磐954-2
TEL.0799(82)3131

淡路キャンパス(緑環境景観マネジメント研究科)

〒656-1726 淡路市野島常磐954-2
TEL.0799(82)3131